

文部科学省の原子力人材育成事業に採択

～国内 27 機関と協力しオンライン教材を活用した原子力教育拠点の構築を開始～

【概要】

このたび、文部科学省の「国際原子力人材育成イニシアティブ事業（原子力人材育成等推進事業費補助金）」の公募において、本学の提案「機関連携強化による未来社会に向けた新たな原子力教育拠点の構築」が採択されました。この事業は、大学や研究機関等が組織的に連携し、原子力分野において育成する魅力的な人材像を掲げ、共通基盤的な教育機能を補い合うことで、拠点として一体的に人材を育成する体制の構築を促し、ひいては我が国の原子力分野の人材育成機能の維持・充実に寄与することを目的とした取組を進めるものです。本学では、令和 2 年度より 7 年間にわたって、原子力系の教員が本学オープンエデュケーションセンターと連携し、さらに国内の 27 の大学、高専、研究機関、民間企業と協力し、オンライン教材を活用した原子力教育の拠点化を進める計画です。

【経緯】

文部科学省は、令和 2 年 3 月 11 日～令和 2 年 6 月 1 日の期間、令和 2 年度「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」（原子力人材育成等推進事業費補助金）の公募を行いました（※1）。

これまで当該事業では、機関ごとの特色を活かした取組に対して 3 年間で年限とした補助を実施していました。これに加えて今年度から、産業界や他分野との連携・融合等を含めた幅広い観点から、中長期的な取組を促進するという視点を考慮し、初年度をフィージビリティスタディー（FS）として、その後審査・評価を経て、実施計画の残りの一定期間（～6 年間）について補助金を交付する制度に変わっています。本学は、「機関連携強化による未来社会に向けた新たな原子力教育拠点の構築」を提案し、同省の外部有識者による書類審査及びヒアリング審査を受け、採択に至りました（※2）。

※1 https://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/000005338.htm

※2 https://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1419734_00001.htm

【事業内容】

本事業では、道内の 4 機関（旭川工業高等専門学校、釧路工業高等専門学校、函館工業高等専門学校、北海道電力株式会社）及び道外の 23 機関（大学、高専、研究機関及び民間企業）がコンソーシアムを構築し、原子力教育の拠点構築を目指します。本学はこれまで、長年にわたってオンライン教材を用いた原子力教育を行ってきました。新たに構築する教育拠点では、本事業に参画する多くの機関が、各機関の強みを活かしたオンライン教材を制作・共有するとともに、各機関が得意とする実験・実習の参加機会を提供することで、利用者の利便性並びに教育効果を高めた原子力教育を展開します。また、原子力工学の多様な分野において外国の大学、研究機関との連携を行い、国際研鑽の場として、海外 インターンシップや留学を促すとともに、国際セミナーを開催します。さらに、高専での教育、社会人教育、市民向け理解活動に活用可能な教材開発にも積極的に取り組みます。

なお、今年度はオンライン教材の制作・公開を先行して進めるほか、MOOC（大規模公開オンライン講座）を開講します。また、FS として、詳細な教育プログラムの検討を進めるほか、来年度以降に実施する関連実験の環境整備を行います。

お問い合わせ先

北海道大学大学院工学研究院 特任教授 中島 宏 (なかしまひろし)

T E L 011-706-7834 F A X 011-706-7834 メール nakashima.hiroshi@eng.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学総務企画部広報課 (〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目)

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimu.hokudai.ac.jp